

【あわじ環境未来島構想】

暮らしの持続

- 誰もが安心して生涯現役で暮らし続けられる
- 国内外から人が集い、交流と活力が広がる

[成果指標・2050年の目標]

・生活満足度90%

● 持続人口(定住人口+交流人口)16万8千人

地域の持続性を高める
新たな人口概念を提案

高齢化が急速に進む大都市
からの人の受け入れや健康
回復・癒しの場としての利用

- 災害・事故・資源制約の脆弱性克服
- 域外流出していた
エネルギー費用の域内循環
- エネルギーの地域産業化
- 二酸化炭素の排出削減

- 電力融通や節電等の
参加型エネルギー構造
- 担い手の供給
- 交流を通じた
取組の進化

- 食料価格高騰の脆弱性克服
- 安全・安心な食料の安定供給
- 就業の場の創出
- 交流・ツーリズムの拡大

大都市圏への
電力供給(将来)

大都市圏への
食料供給拡大

3つの持続で実現する 生命つながる 「持続する環境の島」

エネルギーの持続

- 地域資源を生かした
再生可能エネルギーのベストミックス
- 豊かさと両立するエネルギー消費の節電・最適化

[成果指標・2050年の目標]

・エネルギー(電力)自給率100%

・二酸化炭素排出量1990年比88%削減

- 地域エネルギーの市場創出
- エネルギー創出への投資

農と食の持続

- 農と食の志をもった人材が学び、育つ
- 安心と健康を支える食の生産・供給拠点

[成果指標・2050年の目標]

・食料自給率(生産額ベース)300%以上

・食料自給率(カロリーベース)100%以上

- 農漁業の生産プロセスのグリーン化
- 域外流出していたエネルギー費用の
域内循環